

会 議 録

会議の名称		令和6年度 第1回守谷市国民健康保険運営協議会		
開催日時		令和6年8月7日（水） 開会：午後1時15分 閉会：午後2時30分		
開催場所		市役所議会棟2階 全員協議会室		
事務局 (担当課)		健幸福祉部 国保年金課、保健予防課		
出席者	委 員	西連地委員、染谷（桂）委員、菊地委員、宇澤委員、 染谷（光）委員、森田委員、澤田委員、上田委員 計 8名		
	市職員	松丸市長、羽田部長、 国保年金課：宮本課長、長塚課長補佐、鈴木係長、岡田係長 保健予防課：新島課長、倉持課長補佐、鈴木係長、高田係長 計 10名		
公開・非公開 の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0人
公開不可の場合 はその理由				
会 議 次 第		1 開会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 報告事項 （1）令和5年度守谷市国民健康保険事業運営状況について （2）令和6年度守谷市国民健康保険事業運営概要について （3）守谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について （4）第2期守谷市国民健康保険データヘルス計画について 5 その他 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施について 6 閉会		

確 定 年 月 日	会 議 録 署 名	
令和6年9月9日	会 長	西 連 地 利 己
	委 員	森 田 崇
	委 員	宇 澤 ゆ う 子

審 議 経 過

1 開 会

事務局 令和6年度第1回守谷市国民健康保険運営協議会を開催する旨を宣言し、出席委員8名であり、過半数に達しているため会議は成立する旨を報告した。なお、傍聴希望者はなし。

第3期守谷市国民健康保険データヘルス計画及び第4期守谷市国民健康保険特定健康診査等実施計画策定に対する協力の御礼を伝える。

令和6年3月末の委員退任に伴う新委員就任を報告。

2 会長あいさつ

西連地会長あいさつ

3 市長あいさつ

松丸市長あいさつ

4 報告事項

議事に入る前に、公開する会議録に発言者氏名を記載するかどうかを協議し、記載することに決定した。

(1) 令和5年度守谷市国民健康保険事業運営状況について

事務局 資料No.1により説明

「国民健康保険特別会計決算状況」、「国民健康保険税収納状況」、「国民健康保険特別会計における法定外繰入の状況」、「保健事業の推進」、「ジェネリック医薬品利用促進」

会 長 法定外繰入がないことで、健全な財政運営であることがわかる。

生活習慣病重症化予防事業は健診結果から受診に結び付けるという事業で、糖尿病性腎臓病重症化予防事業は糖尿病で受診している方に外向き、保健指導をするということによいか。

事務局 糖尿病性腎臓病重症化予防事業は糖尿病で受診されている方を対象としている。

会 長 糖尿病で受診している方に保健師が外向いて、保健指導しているのか。

事務局 市の保健師ではなく、外部に委託している。昨年度は糖尿病の指導資格のある看護師にお願いした。

(2) 令和6年度守谷市国民健康保険事業運営概要について

事務局 資料No.2により説明

「国保制度の啓発」、「国保財政の健全化」、「保健事業の充実」、「令和6年度歳入歳出予算」

会 長 一般被保険者が減少しているのは、人口全体が減ってきているから

なのか。社会保険に流れている等、何か要因を分析はしているのか。

事務局 社会保険に流れていることも考えられる。

会 長 若い方が減っていくと65歳以上の方が残ってくる。高齢化率も見守っていただきたい。

事務局 データヘルス計画の推移でみると守谷市は県・国と比べ、国民健康保険被保険者の平均年齢が高い。65歳以上の被保険者の割合が平成30年では約48%であったが、令和4年度になると50.3%となっている。会社を退職されてから国民健康保険に加入される方の比率が多いという特性がある。

会 長 定年や再雇用で65歳まで働くことになる。一生懸命に働いて、体を壊してから国民健康保険に入ってくることもある。地域職域連携と言って、保健所単位で社会保険や協会けんぽ等との情報共有が今後必要になってくるかもしれない。

上田委員 民間は65歳が定年になってきている。再雇用がそこから始まって70歳位まで働くかたが今後増えてくる。そういう方は、社会保険や協会けんぽに加入しているので、国民健康保険に加入するのは今後少なくなると思う。

会 長 定年が段階的に65歳まで延長している。国民健康保険もこれに対応するように、保健事業と国保の運営をしなければならないと思う。

（3）守谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

事務局 資料No.3により説明

令和6年3月30専決処分（令和6年4月臨時議会で承認）

- ・賦課限度額の引き上げ
- ・低所得者に係る軽減基準の見直し

会 長 国の施行令の一部を改正したことに合わせ、条例改正をしたということによいか。

事務局 専決処分させていただき、4月臨時議会で報告させていただいた。

（4）第2期守谷市国民健康保険データヘルス計画について

事務局 資料No.4により説明

「特定保健指導推進」、「糖尿病予防教室」、「受診勧奨域の保健指導」、「糖尿病性腎症重症化予防事業」の令和5年度実績及び令和6年度計画案

会 長 特定保健指導の積極的支援を最後まで実施する割合はどの位か。

事務局 腹囲該当以外にもBMI25以上で該当になる。少しデータが悪くなりかけている方で、自ら運動できる方、自分なりに努力されている方は初回面談で終わることもある。半数前後の方は最後まで残っている。

令和４年度から守谷市は積極的支援を集中的にアプローチしている。いずれも終了率はまだ低いが、利用率は積極的支援の方が動機付け支援を上回っている。

会 長 特定保健指導の対象は肥満傾向にある方なので、筋骨隆々の方でBMIが上がっている方の指導は難しい。

事務局 腹囲以外で対象になった方には、やせるということではなく、病気予防ということでアプローチしている。

宇澤委員 特定保健指導は４０、５０、６０代では何人位いるのか。

事務局 令和５年度特定保健指導の対象者は４７７名。４０代の健診受診率自体が非常に低い傾向にある。５０代から増え始め、大部分は６０代、７０代前半となる。

宇澤委員 ４０代が一番気を付けていくことで、この計画が進んでいくと思う。高齢者の方の話はあるが、４０代の方へどうアプローチしていくのか。

事務局 第３期守谷データヘルス計画には健康教育として、２０代から４０代の方に、病気にならないための健康づくりが大切であるというポピュレーションアプローチを充実させていきたい。健診の受診券発送時に血糖値、高血圧、脂質等のメッセージを同封しているが、６０代、７０代向けになっている。若い方に向けた活動も充実させていきたい。

会 長 積極的支援になる方は肥満の方が前提になるが、血圧、血糖値等で若い方が対象になることはなく、６０代位の方が対象になることが多い。若いから血糖値、血圧が上がってきていないが、若い世代にポピュレーションアプローチが入ってくるということなので、是非、力を入れて頑張っていっていただきたい。

５ その他

高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施について

事務局 資料№.５により説明。

宇澤委員 今年の１２月からマイナ保険証になるが、マル福はマイナ保険証と一体になるのか。

事務局 マイナ保険証と一体にはならない。マル福の受給者証は発行していく。

６ 閉会

以上 午後２時３０分終了